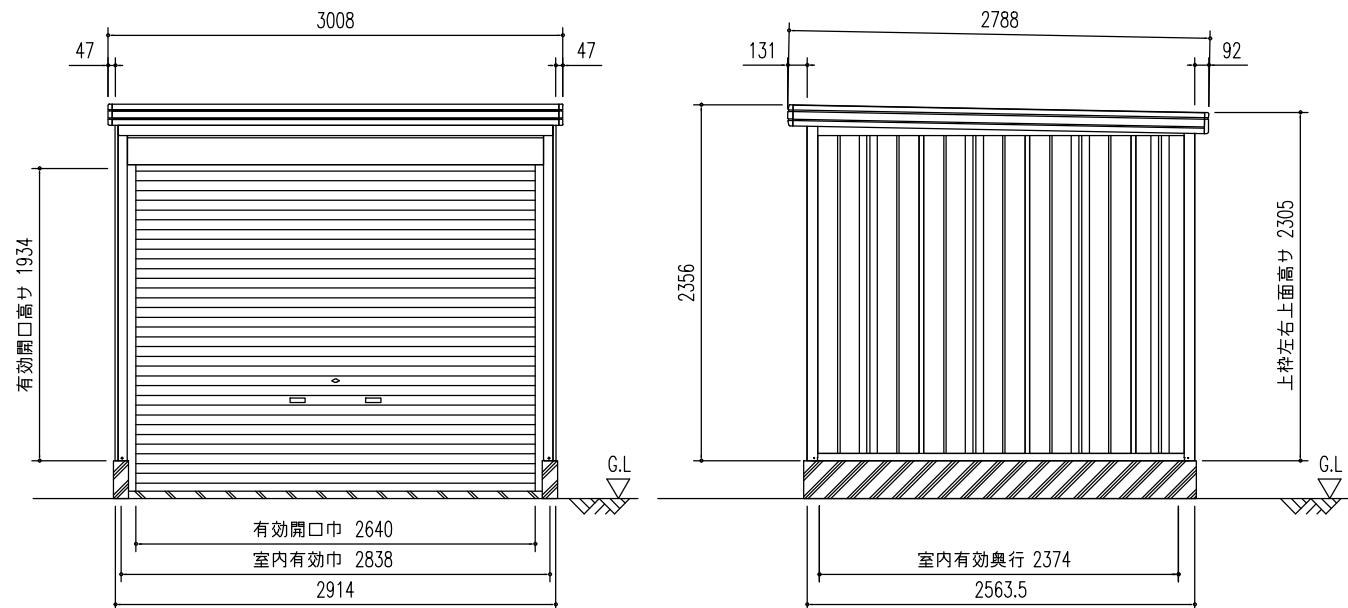
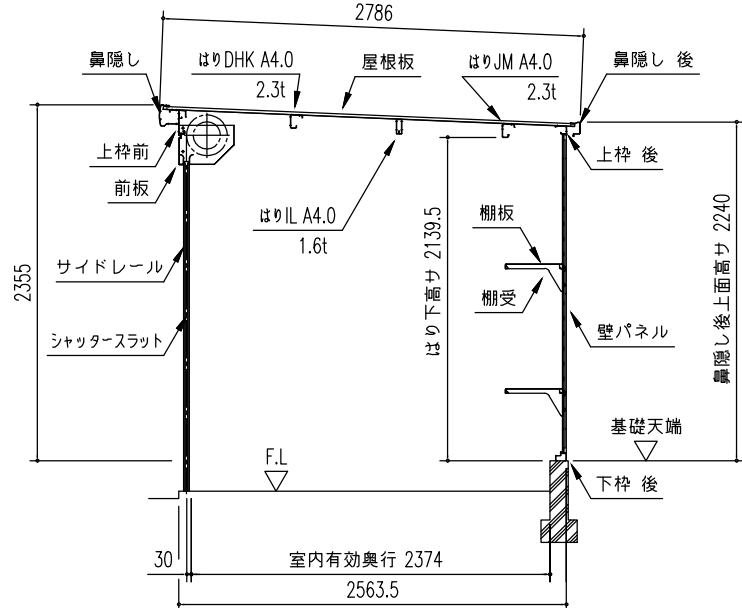


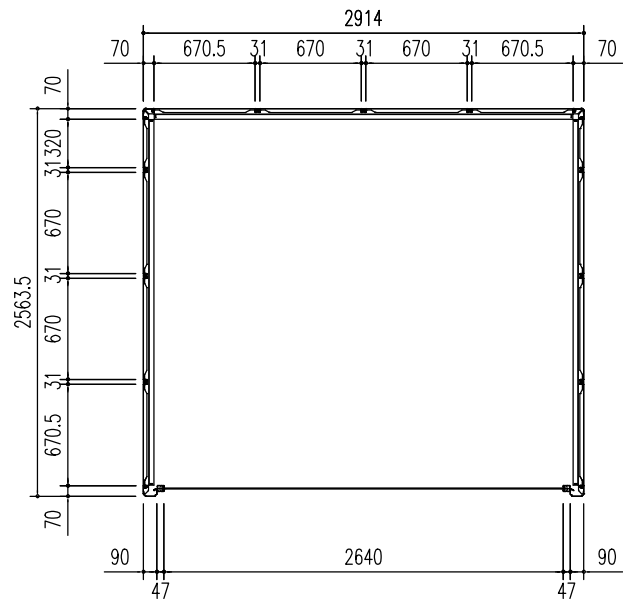


正面立面図 (S = 1/50)

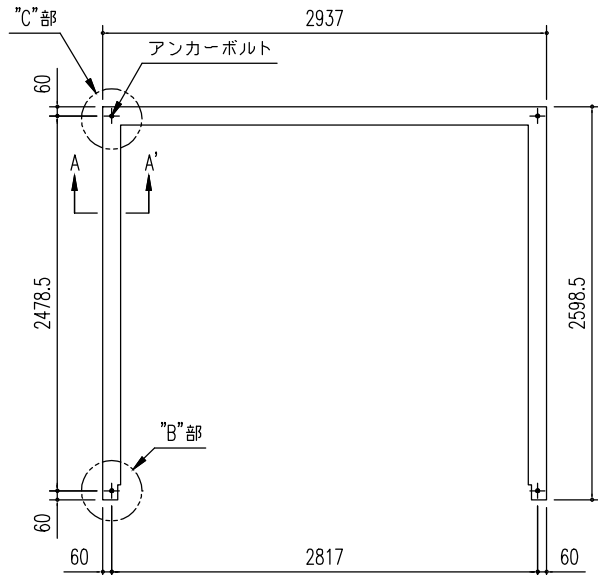
側面立面図 (S = 1/50)



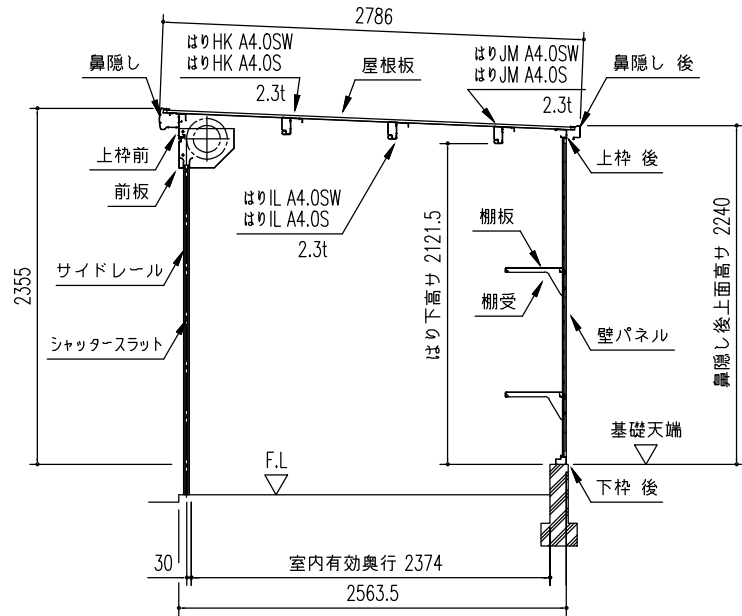
一般型矩計図 (S = 1/50)



平面図 (S = 1/50)



布基礎伏図 (S = 1/50)



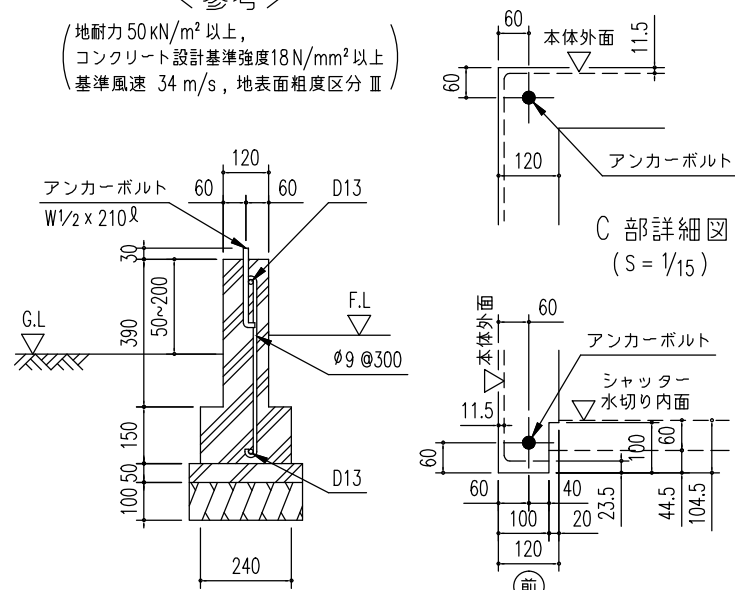
積雪型矩計図 (S = 1/50)

部 材 名	厚さ(㎜)	材 質
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<一般型>はりDHK A4.0	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<一般型>はりIL A4.0	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<一般型>はりJM A4.0	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<積雪型>はりHK A4.0SW	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<積雪型>はりHK A4.0S	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<積雪型>はりIL A4.0SW	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<積雪型>はりIL A4.0S	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<積雪型>はりJM A4.0SW	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<積雪型>はりJM A4.0S	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
下枠側<積雪型>	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
下枠後・下枠側<一般型>	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 前 (後)	1.0 (< 0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 左 右	0.8	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (ツートンカラー)
上 枠 補 強	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し前	0.6	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (ツートンカラー)
鼻隠し後	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱・前, (後)	1.0 (< 0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
棚 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター水切り	-	アルミニウム合金押出型材
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間 柱	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC

部 材 名	サイズ (巾×高さ)
壁パネル H-A	670 × 2110
壁パネル H-F	319.5 × 2110

< 参考 >

(地耐力 50 kN/m² 以上,
コンクリート設計基準強度 18 N/mm² 以上
基準風速 34 m/s, 地表面粗度区分Ⅲ)



A ~ A' 断面
布基礎断面図例 (S = 1/20)

B 部詳細図
(S = 1/15)

- 注1) 地耐力が 50 kN/m² 未満 (30 kN/m² 以上) の場合、底盤幅を 300mm とし、かつ補強筋を入れて下さい。
- 注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
- 注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。
- 注4) 土間仕上げ (F.L.) は、参考例です。
- 注5) 有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

名 称	ヨド物置エルモ シャッター	株式会社 淀川製鋼所
機種名	LOC (S) - 2925HD 型<土間タイプ>	